

京都市北図書館だより

# むらさきのつうしん

第22号

2022年10月発行

色とりどりの実りの秋。紅葉や美味しい食べ物が楽しみですね♪  
そんな中、ちょっと友達とうまく行ってない、とか、そんなつもりじゃなかったのに…と落ち込むことって、ありませんか？いつも良いことばかりではない。まさに、人生山あり谷ありですね。

そんな中、今回の北図書館職員オススメ本紹介のテーマは“**こころにビタミン**”。  
ちょっと元気がないときに、そっと開いてみてほしい。そんな本を集めてみました。

『ころべばいいのに』  
ヨシタケ シンスケ/作  
(ブロンズ新社 2019)



世界にはいろんな人がいて、自分と同じような考えを持っている人がいたり、まったく違う考えを持っている人がいたりいなかったり……。いろんな人に出会えることって楽しいことで、もし楽しい気持ちになれない時も、考えかたを変えてみれば、なんでも楽しくて面白いことに変換できるかもしれませんよ。

『雨ニモマケズ』  
宮沢 賢治/詩、松成 真理子/絵  
(あすなろ書房 2015)



「自分を勘定に入れずに…」(一部抜粋)  
実は『雨ニモマケズ』は、宮沢賢治の没後に偶然発見された黒い手帳に書かれた、メモ書きのようなものでした。今の言葉とは少し違うのでちょっと読みにくいかもしれませんが、言葉一つ一つをじっくり味わってみてください。繰り返し読んでみてください。きっと、今を生き抜くヒントが、見つかるはずですよ。

## 『水を縫う』

寺地 はるな／著 （集英社 2020）



高校生になった清澄は、自己紹介の時「縫物が好きなので手芸部に入るかも」と言ってしまいました。男なのに手芸部だってという視線を感じたが、自分に素直に生きることを選んでいます。この作品に登場する人々はこだわりがあり「普通」という概念を飛び越えたところで過ごしています。母親だけはわが子を「悪目立ち」させないために「普通」を望んでいますが、うまくいきません。「女らしさ」「男らしさ」「父とは」「母とは」・・・などの世の中の「普通」に対して作者は常に？を持っています。自分に向き合い自分を大切に生きることをとつとつと語っています。

## 『教室に並んだ背表紙』

相沢 沙呼／著 （集英社 2020）



「陰キャ」と笑われて図書室で過ごすあお。大きらいな読書感想文をずるをして書こうとしているあかね。アニメのキャラにしか興味が持てない萌香。…学校生活に息苦しさを覚えている少女たちに、司書の「しおり先生」がおススメする本は、ビタミンカラーのグミみたいにちょっとだけ元気を分けてくれます。でもそのしおり先生にも秘密があって…。

## 『しっばいにかんぱい！』

宮川 ひろ／作、小泉 るみ子／絵  
（童心社 2008）



運動会のリレーで失敗して落ち込む加奈を、家族は励まそうとしますがなかなか立ち直れません。しかし、おじいちゃんが昔の自分の失敗談を語ってくると…。一生懸命やった結果の失敗は、辛くても肥やしになることを教えてくれる一冊です。

## 『戸村飯店青春 100 連発』

瀬尾まいこ／著  
（文藝春秋 2012）



大阪の下町にある中華料理店。配達に行くと飴を一掴みくれるおばちゃん、常連のクセの強いおっさんたち、ぽんぽん飛び交うテンポのいい会話、ボケとツッコミ。みんなそれぞれ悩みを抱えて生きているのだけれど、なんだか面白くてあたたかい。登場人物みんなが愛おしくて、読むと元気がもらえる一冊です。

## 『世界のダンジョン 冒険をめぐる情景』

パイインターナショナル／編著  
(パイインターナショナル 2020)



まるでゲームの中の主人公になったような気分になれる景色がたくさんあり、海外だけでなく、日本の景色も載っています。洞窟や、森の奥深くなどいろんな場所があり、わくわくします。こんな景色が本当に存在するのか信じられない、冒険したい、と気持ち上がる一冊です。

## 『必死すぎるネコ』

沖 昌之／著 (辰巳出版 2017)



街の猫たちの必死な瞬間を切り取った写真集。え、ちょっと、なんでそんなところにはさまちゃったの？え、ちょっと、なんでそんなに濡れちゃったの？？なんでなんでなんで？？？ 眺めるだけでもくすっと笑えて、どうしてそうなった？を想像するともっと楽しい、お得な一冊です。

## 『パーマネント神喜劇』

万城目 学／作 (新潮社 2017)



本作の主役は 1000 年くらい主に縁結びを仕事にしている神様とそれぞれ恋の事情を抱えた人間たち。神の世も人の世と似て、仕事の成績良くなけりゃ昇進遠のく厳しい世界。「神様なんだから、神通力で何でもなるんじゃないか」って？そう簡単にもまいません。時代のニーズに応えなきゃ、上手くいかない成就しない。果たして人々の恋模様と神様の昇進の行方は如何に…。神と人が織りなす“神”喜劇、どうぞご笑覧あれ。

## 『もしも人生をやりなおせるなら』

ナディーン・ステア／文、こがらしパレード／絵、かみひこうき／訳  
(ディスカヴァー・トゥエンティワン 2015)



85 才の、ごく平凡なおばあさんが、自分の人生を振り返って書いた詩。その短い文章が、多くの人々の心に残り、国を超えて数十年読み継がれています。好きなこと、やりたかったこと、もっと自由に、もっと正直に、人生の一瞬一瞬の大切さが伝わってきます。



## おわりに

例えばちょっと迷ったり悩んだりしているとき。ふと目にした、気になる本があったとしたら、それはあなたと本との、不思議な出会いなんです。そんな時は迷わず、その本を手にとってみてください♪そこにはもしかしたら、何かしらのヒントやメッセージが隠れているかも…？かもしれません。

そしてそんな出会いを求めて、図書館にもぜひ、足を運んでみてくださいね♪

### 【京都市北図書館からのお知らせ】

★ 1月31日(火)～2月9日(木)

京都市図書館は、システム更新に伴い、上記期間に臨時休館します。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 京都市北図書館

〒603-8214

京都市北区紫野雲林院町 44-1

TEL 075-492-8810

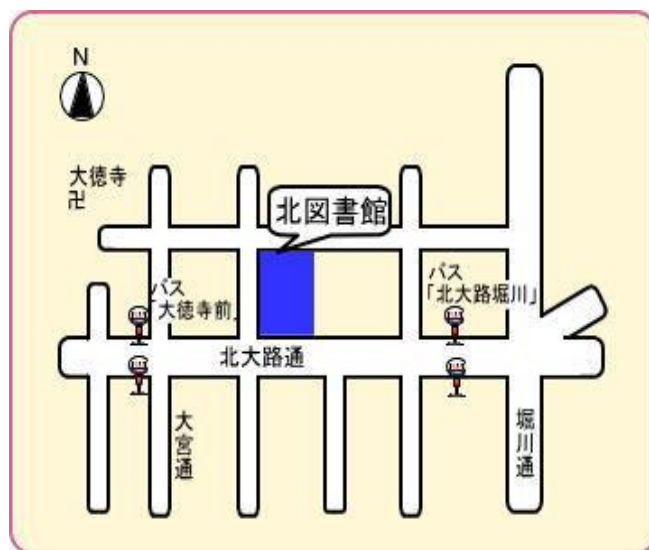
開館時間 平日 9:30～19:30

土日祝 9:30～17:00

休館日 毎週火曜日（祝日の場合は翌日）

URL <http://www2.kyotocitylib.jp/>

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開館時間が異なる場合がありますので、ご注意ください。  
くわしくは、ホームページをご確認ください。



★京都市図書館で本を借りるときは図書館カードが必要です。カードの発行には、住所、氏名を確認できるものが必要です。